

土曜教育活動



お菓子作り&商い体験
(重信わんぱく広場【東温市】)

①【新居浜市】土曜寺子屋教室	48
②【西条市】氷見小土曜教室	49
③【上島町】上島子ども体験教室	50
④【東温市】重信わんぱく広場	51
⑤【西予市】せいよキッズキッチン	52
⑥【愛南町】ワクワク体験教室	53

土曜寺子屋教室【新居浜市】

～人間性豊かな子どもを育てる～

◆活動の目的・理念

- 「礼を正し、場を清め、時を守る」子どもの育成
- 市内児童の校外生活の充実を図る「学びの場」づくり
- 経験豊かな教育会所属OBの教育愛に基づく知恵と創意を生かした指導

活動場所	新居浜市教育会館	対象学校区名	市内全小学校区	子どもの平均参加人数	50 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日 日・休業日等	41 日 1 日	10 : 00 ～ 12 : 00 10 : 00 ～ 14 : 30	活動のべ 日数	42 日
土曜教育サポーターのべ人数	21 人	教員OB	ボランティアのべ人数	151 人	土曜教育支援員のべ人数 教員OB
参加者募集	各小学校を通じて募集要項と受講申込書を配布		連携・協力 機関・団体	市内全小学校	

取組の概要

＜主な取組内容＞

- 子ども囲碁道場
 - ・ 囲碁のルールの基本から対局。
- 書を楽しむ
 - ・ 毛筆の技術上達を目指す。
- 篠笛は友だち
 - ・ 日本の伝統楽器篠笛の吹き方を習う。
- できる算数教室
 - ・ 計算力のアップを目指す。
- お茶席の作法
 - ・ 簡単なお点前のお稽古。
- 子ども俳句教室
 - ・ 俳句の作り方の学習。
- 子ども英語教室
 - ・ 英語の発音に慣れ親しむ。
- 読書の広場
 - ・ 読書活動、読み聞かせ。

児童の感想

- ・ お茶会に、お父さんとお母さんが来てくれて、うれしかった。帰ったら「上手にできてたね」と褒めてくれた。
- ・ 舞台上で発表するのは恥ずかしかったけど、大きな声で発表できてよかった。
- ・ いろんな種類の本があるので、読むのが楽しみ。



(子ども囲碁道場での活動)

＜特色ある取組＞

● 「成果発表会」の開催

土曜寺子屋教室で学ぶ児童の学習成果を発表する「土曜寺子屋教室成果発表会」を新居浜市文化振興会館にて実施。習字、俳句、本の帯作品展示、英語の自己紹介、算数教室活動感想展示のほか、囲碁対局、篠笛演奏、俳句・英語発表、お茶会などに多くの市民が来場。



(お茶席の作法のお茶会)

事業を実施して

【成果】

- 発表会の作品内容がレベルアップするなど、寺子屋での学びが成果として表れた。
- 親子清掃活動や発表会に、保護者と児童、講師が協力して参加することにより、学校生活以外でのコミュニケーションができた。

【課題】

- 講師の高齢化に伴う後継者の育成が求められる。
- 小学校との連携を密にし、情報交換等を進める必要がある。
- 講座数が減少しており、新しい講座を開設する必要がある。

氷見小土曜教室【西条市】

～地域ぐるみで子どもの体力を高めよう～

◆活動の目的・理念

- 水泳・持久走の専門的な指導を通して、スポーツを楽しみながら、体力の向上を図る。
- 楽しく泳いだり、走ったりすることで、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を図る。

活動場所	氷見小学校プール 氷見小学校運動場		対象学校区名	氷見小学校		子どもの平均 参加人数	21 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日	0 日	9 : 00 ～ 11 : 00	活動のべ 日数	8 日	土曜教育支援員 のべ人数	8 人
土曜教育サポ ーターのべ人数	人	8 日		ボランティア のべ人数	20 人	教員	
参加者募集	小学校を通じてチラシを配布		連携・協力 機関・団体	氷見小学校、氷見公民館			

取組の概要

<主な取組内容>

● 夏休み水泳教室

- ・ 3年生以上の児童で25mを泳ぐことができない児童のうち参加を希望する者を対象に、基礎的な泳法の指導を行う。
- ・ 泳力の向上を目指すとともに、仲間とともに運動することの楽しさや面白さを味わうことで、水泳に対する苦手意識をなくし、意欲的に練習に取り組ませる。
- ・ 泳法の基本を専門的に指導することで、正しく効率的なフォームを身に付ける。

● 楽しく続けて走ろうRUNラン教室

- ・ 3年以上の希望児童を対象に、持久走の指導を行い、体力の向上を目指す。
- ・ ゲームなど楽しく運動に取り組む体験を重視し、意欲的に練習に取り組ませる。
- ・ 正しいランニングフォームを専門的に指導することで、効率的に走る感覚を身に付け、長距離をできるだけ楽しく走ることができるようにする。



(夏休み水泳教室(基本の泳法))



(RUNラン教室 長距離トライアル)

児童・生徒の感想

- ・ 水泳教室→先生や友達に励ましてもらったのがうれしかったです。最後に25m泳ぎ切ることができたのでよかったです。
- ・ RUNラン教室→ゲームが多くあって、楽しみながら走れました。よい姿勢で走ると速く走れることが分かりました。

<特色ある取組>

● 専門家による効果的な指導と職員研修の充実

水泳・持久走の指導ともトライアスロンの現役選手である地域の土曜教育支援員に、専門的で最新の指導をしていただいたことにより、短い期間ではあったが、児童のスキルが格段に向上した。ボランティアとして参加した教員も、指導の方法や技術について体感することができ、教員としての資質・能力の向上に役立った。学校・地域・専門機関が連携し取り組んだ成果である。



(水泳教室 講師との交流)

事業を実施して

【成果】

- 水泳・持久走とも楽しく練習することに重点を置いて練習できたので、子どもたちが運動をより好きになった。
- サポーターとして参加した教員にとっても、最新で専門的な指導に触れることで、教員としての資質・能力の向上に役立った。

【課題】

- 参加する児童が思ったより少なかった。できるだけ多くの児童に参加してもらい、運動することの楽しさを体感してもらうことで、運動に対する意欲を深めたい。

上島子ども体験教室【上島町】

地域ぐるみでふるさとを愛する子どもを育てよう～

◆活動の目的・理念

- 地域資源を活用した体験活動を実施し、子どもの健全育成、ならびに子どもの居場所づくりを進める。
- 特色、魅力ある教育プログラムを企画・実施し、子ども達の成長を支え、地域と学校の連携・協働による教育活動を

活動場所	町内各施設・野外等	対象学校区名	魚島小学校・弓削小学校・生名小学校・岩城小学校	子どもの平均参加人数	14 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日 日・休業日等	7 日 3 日	13 : 30 ～ 15 : 30 13 : 00 ～ 16 : 00	活動のべ 日数	10 日
土曜教育サポーターのべ人数	人		ボランティア のべ人数	人	
参加者募集	各小学校を通じてチラシを配布	連携・協力 機関・団体			

取組の概要

＜主な取組内容＞

- スナッグゴルフ
 - ・身近にないスポーツを体験できる機会の提供。ゴルフというスポーツが持つフェアプレーを通じた道徳教育の一環として実施。
- イスをつくろう
 - ・普段使うことのない道具を体験できる機会を提供する。いつも座っているイスがどのようにできているかについて学んだ。
- おいしく食べて学ぼう
 - ・ふるさとの柑橘について、学び、収穫体験、糖度測定などを実施。地域資源である柑橘に関心を持ち、故郷の産業について発信できる知識を得る機会とした。
- ランプシェードづくり
 - ・デジタル化している子どもたちに手先を使った工作の機会を提供する。



(初めてのゴルフに興味津々)



(真剣にイスを作っている様子)



(友達と協力して工作)

児童の感想

- ・初めてゴルフをして、みんなで楽しくできてうれしかったです。また参加したいです。
- ・今日作ったイスを大切に使いたいです。イスの作り方がわかったので、自主勉強ノートにまとめようと思います。
- ・友達と協力し、頑張って作れて良かったです。家に帰って家族にも作り方を教えてあげたいです。

＜特色ある取組＞

● デイキャンプ

キャンプの特性を活かし、自然の中で遊ぶ力を養うこと、家族や同級生以外の仲間との協働を通して思いやりの心を育むことを目的に実施した。参加者全員で火起こし体験をし、その後、食事班と海活動班に分かれて活動した。また、みんなで「いただきます。」をして、笑顔で美味しくカレーを食べることができた。児童の感想には、「海にも陸にもたくさんの生き物がいて面白い。」といった感想もあり、今後も、自然に触れる活動を実施していきたい。



(みんなでSUPにまたがり海を満喫)

事業を実施して

【成果】

- 普段、学校や家庭ではなかなかできない教室を企画することができた。
- 楽しんで参加してもらえ、活動後のアンケートでは、また参加したいという児童が多い。
- 土曜教育支援員さんから、子ども達が町で会ったときに、声をかけてくれて嬉しいといった声が聞けた。

【課題】

- 学校ごと、顔見知り同士が固まることが多いこと。垣根なくみんなが混ざり、交流が活発になるような教室を計画したい。
- 地域の中の多様な経験や技能を持つ人材を活かした、特色、魅力のある教育プログラムを企画し、継続していきたい。

重信わんぱく広場【東温市】

～体験活動を通して、地域総がかりでわんぱくキッズを育てよう～

◆活動の目的・理念

- 土曜日の教育環境を豊かなものにする。
- 体験活動を通じて、地域の自然や文化を再認識する。
- 想像力や健全な心身を養い、地域間交流の高揚を図る。

活動場所	東温市中央公民館		対象学校区名	東温市立北吉井小学校、東温市立南吉井小学校、東温市立拝志小学校、東温市立上林小学校		子どもの平均参加人数	42	人/日
開催日数	土曜日	9 日	9 : 00 ~ 12 : 00	活動のべ	12 日	土曜教育支援員のべ人数		人
曜日・時間	日・休業日等	3 日	9 : 00 ~ 15 : 00	日数				
土曜教育サポーターのべ人数	人				ボランティアのべ人数	10 人	大学生、地域住民	
参加者募集	年度初めに各小学校を通じてチラシを配布し受講生を募集			連携・協力機関・団体	東温市生活研究協議会、愛媛大学、松山東雲女子大学、四国電力ほか			

取組の概要

＜主な取組内容＞

● 木工体験教室

- ・市内の企業から木材を分けてもらい講座を実施しました。講師には電動カッターも用意していただき、上手に作品を仕上げる事ができた。

● お菓子作り＆商い体験

- ・市の文化祭に合わせ、講師指導のもとでスイートポテトを調理し、バザーで販売した。参加者同士で交流しながら、お菓子作りを楽しむことができ、販売も予想をはるかに上回るスピードで販売できた。

● 防災デイキャンプ（防災講座）

- ・災害はいつ起こるか分からない。突然の災害、被災したいざという時、大人が近くにいなくても自分が考えて対処、避難できるよう、愛媛大学防災リーダークラブや東温市消防署の協力で、脱出体験や、ロープワークなどを行った。



（お菓子作りの様子）



（防災デイキャンプの様子）

児童の様子

- ・防災デイキャンプでは、講師からの話やロープワークの説明に真剣に耳をかたむけ、いざという時に自らが対応できるよう講座に取り組んでいました。

＜特色ある取組＞

● キャンプでALTと異文化交流！

例年夏休みは1泊2日のキャンプを行った。野外炊飯をしたり、川で魚のつかみ取りをしたり、滑川溪谷を散策したり、子どもたちにとっては夏の一番の思い出になっている。

学校教育課のALT講師派遣事業を利用してALTをキャンプに招き、英語やジェスチャーでコミュニケーションをとったり、一緒にゲームなどの交流を行った。学校の授業で交流するのとは違い、キャンプの高揚感もあり、子どもたちはいつもより積極的にコミュニケーションをとっている様子だった。



（ALTと交流する参加者）

事業を実施して

【成果】

- 地域団体や地元企業の協力を得て、子どもたちが豊かな体験や経験を重ねることができている。
- 故郷学から、防災、料理やスポーツなど、活動内容は多種多様で、子どもたちにとって様々な学びになっている。

【課題】

- 地域交流を目的とした事業であるものの、小規模校児童の参加がない。
- 地域との連携を模索しているが、地域に眠っている人財の掘りおこしを常時行っていく必要がある。

せいよキッズキッチン【西予市】

～料理ってたのしい！だいどころはしあわせをつくるばしょ～

◆活動の目的・理念

- 子どもたちが安心して過ごすことのできる居場所づくり
- 学校・家庭・地域の連携による教室づくり
- 土曜日等の豊かな教育活動の推進

活動場所	西予市教育保健センター	対象学校区名	市内小学校全域	子どもの平均参加人数	16 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日 6 日 日・休業日等 3 日	9 : 30 ~ 13 : 00 9 : 30 ~ 13 : 00	活動のべ 日数	9 日	土曜教育支援員 のべ人数 8 人
土曜教育サポーターのべ人数	22 人	婦人会、地域住民等	ボランティア のべ人数	人	
参加者募集	各小学校を通じてチラシを配布	連携・協力 機関・団体	遊子川・ザ・リコピンズ、田力本願、農家食堂でてるてる、食育インストラクター		

取組の概要

＜主な取組内容＞

- 料理について学ぼう
 - ・当日に行う料理について、どんな西予市産の材料を使って、どのように調理するかをあらかじめ学んでから料理を始めた。
- 調理しよう
 - ・上級生が班のリーダーとなり下級生をまとめ、分担して調理を行った。土曜教育支援員やサポーターに調理方法を教えてもらい、見守られながら、班で協力して調理を行った。
- 片付け・反省
 - ・時間内に終わることができるよう自分たちで片付けを行った。食べて遊ぶ子には片付けの大切さを知ってもらい、最後まで協力をさせた。その後、振り返りと反省を行った。



(野菜を真剣に切る子どもたち)



(パエリアをきれいに盛り付け)

児童の感想

- ・時間はかかったけど、とてもおいしくできたのでよかった。
- ・お米は大切にしておいてあげようと思いました。
- ・最初から片付けまであまり家ではしないのでとても大変だった。

＜特色ある取組＞

- 料理はすべて自分たちで

料理は極力自分たちで行った。子どもたちは、おいしい料理ができて楽しかった思い出と同じぐらい、自分がうまくできなかったり、失敗したりすること、一人ではできなかったことなどを学んだ。
- 家族もてなしデー

自分たちで献立を考え、買い物をし、家族を招待。料理をふるまって家族にも喜んでもらえた。



(調理後のふりかえりの時間)

事業を実施して

【成果】

- 子どもたちが主体的に動くことが多くなった。
- 他校の友達や上級生・下級生と仲良くなる子が増えた。
- 全ての子どもたちが、キッズキッチンに喜んで参加している。
- 家の人への感謝の気持ちが芽生えた。
- リピーターが増えている。

【課題】

- スタッフの確保と育成
- ジュニアリーダーの育成
- チームワークが苦手な児童に対する指導の在り方

ワクワク体験教室【愛南町】

～愛南町を愛する子どもを育てよう～

◆活動の目的・理念

- 子どもたちに、学校の教育課程に留まらない体験的な活動、補充・発展的な学習を提供する。
- 子どもたちの心身の健やかな成長を支援する。
- 地域の貴重な遺跡や豊かな自然を舞台として、専門的な知識を持つ指導者から学ぶ機会を提供することで、子どもたちに郷土愛を醸成する。

活動場所	活動によって異なる	対象学校区名	愛南町全小中学校	子どもの平均参加人数	15 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日 日・休業日等	3 日 3 日	活動によって異なる	活動のべ 日数	6 日
土曜教育サポーターのべ人数	6 人	元教員、元公務員 等	ボランティア のべ人数	2 人	土曜教育支援員のべ人数 6 人
参加者募集	各小・中学校を通じてチラシを配布	連携・協力 機関・団体	各小・中学校、各公民館 等		

取組の概要

<主な取組内容>

● 夏の夜空を見てみよう！



・天体望遠鏡の使い方を学んだ。この日は、あいにくの曇り空で、実際に星を見ることは叶わなかったが、講師による月や星座についての話を聞いて、天体へ強い興味を抱いたようだ。

● 静電気について学ぼう！



・静電気について学んだ。ティッシュでこすったパイプで髪を立たせる実験や、缶を転がす体験、静電気発生装置を使った実験などを通して、静電気の仕組みについて楽しみながら知ることができた。

● 染め物に挑戦しよう！



・絞り染め体験を行った。白いTシャツに輪ゴムやビー玉で模様をつけて、オリジナルTシャツを完成させた。鮮やかに染まったTシャツに、子どもたちは満足気だった。

● 冬の夜空を見てみよう！



・冬の星空観測を行った。自分たちの背丈ほどもある大きな天体望遠鏡を使い、金星やアンドロメダ星雲、オリオン座星雲などを観測した。望遠鏡を覗くたびに子どもたちからは歓声があがった。

<特色ある取組>

● 篠山の自然を楽しもう

町内にある篠山（標高約1065m）への登山を行った。一帯は国立公園、県立自然公園に指定されており、アケボノツツジなどの自然植物の宝庫で、古くから山岳信仰の霊地として知られた山である。子どもたちは、篠山の自然や、その自然を守るための取り組みなどについて、環境省の自然保護官によるクイズ形式で学んだり、動物の足跡を探しながら、頂上を目指した。1時間程歩いて到達した頂上では、そのすばらしい眺めに皆歓声をあげ、笑顔があふれていた。



（頂上で自然保護官によるクイズに挑戦する子どもたち）

事業を実施して

【成果】

- 年間を通じて、子どもたちに様々な体験を提供することができた。
- 愛南町の自然や文化と子どもたちを触れ合わせることができた。
- 子どもたちの輝く笑顔を見ることができた。

【課題】

- 日程の調整や参加者集めが難しいが、各機関との連携により、参加しやすい日程や時間の設定に努めた。
- 町の広報誌やホームページ、Facebook、ケーブルTVなどを利用して活動を周知することで、幅広い参加者集めに努めた。



家庭教育支援



家庭教育学級(地魚料理教室)
(家庭教育学級・子育て学習講座【今治市】)

①【四国中央市】家庭教育支援チームふれ愛グループ	56
②【西条市】子育て学習講座	57
③【今治市】家庭教育学級・子育て学習講座	58
④【上島町】家庭教育支援・子育て講座	59
⑤【伊予市】伊予市家庭教育・子育てサポートグループ	60
⑥【砥部町】砥部町家庭教育支援チーム	61
⑦【久万高原町】久万高原Happyサポート	62
⑧【大洲市】大洲子育てサポート“そよ風”	63
⑨【西予市】せいよ家庭教育・子育て応援グループ	64
⑩【宇和島市】宇和島市家庭教育支援チーム	65
⑪【愛南町】あいなん子育て応援グループ	66

家庭教育支援チーム ふれ愛グループ【四国中央市】

～絆を深め、心の通い合った温かい支援を目指して～

◆活動の目的・理念

- 家庭教育や子育てに関する講座を推進し、家庭教育力の向上を図る。
- 懇談会や相談活動を通して、保護者の悩みを共有し、温かい支援に努める。
- 子育ての拠り所となる子育て情報を発信し、活動の絆を深める。

活動拠点	妻鳥公民館・寒川公民館	講座・学習 会開催数	33 回	相談対応 件数	10 件	訪問活動	- 件
広報活動	1 回	連携・協力 団体・機関	市内保育園・幼稚園33園、小学校19校、中学校7校、公民館3館				
チーム スタッフ	地域コーディネーター	1 名	子育てサポーター・リーダー	2 名	民生委員・児童委員	名	
	元教職員	2 名	PTA役員	名	保健師	名	
計 8 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	3 名	

取組の概要

<主な取組内容>

● 親の子育てを応援する学習会の開催

- ・ 子育て学習会（幼稚園・保育園5回 小学校12回）

参観日や就学時健康診断等を利用して子育て講座を行っている。幼稚園や保育園では、特に幼児期の子どもの発達段階に応じた内容を取り上げ、楽しみながら子育てを行うことの大切さについて語り掛けた。小学校では、就学時健康診断時に早寝早起き朝ごはんやスマートフォン・ゲームの弊害等、子どもの正しい生活習慣の身に付け方について学んだ。また、今年度は、放課後児童クラブにおいて「友だちづくり」のワークショップを実施し、互いに学び合いながら交流を深めた。

- ・ 子育て懇談会（保育園・幼稚園6回）

懇談会を2日間実施する園が増え、保護者同士が子育てについて語り合い、自分の子育てを振り返ることができており、育児に前向きに取り組んでいる様子が感じられ、真剣な思いが伝わってきた。

● 必要な支援へとつなぐ相談活動の実施

- ・ いじめや不登校、学力不振、発達障害等子どもたちが抱えている問題で悩んでいる保護者の話に耳を傾け、温かい支援に努めている。

● 公民館との連携

- ・ 土居公民館で未就園児と保護者を対象に年10回の学習会を開催している。

● 効果的な情報提供

- ・ 家庭教育の指針として、保護者の心の拠り所となるリーフレットを作成し、保育園や幼稚園、小学校、中学校の保護者に配布している。



（子育て講座（川之江小学校））

保護者の感想

- ・ 家族みんなで、【早寝早起き朝ごはん】を頑張って取り組んでいきたいです。
- ・ 「子どもをしっかりとお見守りすること、観察していないと、子どものスランプに気付くことはできないよ。」との先生の言葉から、私自身の日頃の接し方を考え直さないといけないと思いました。

<特色ある取組>

● 子育て懇談会

幼稚園や保育園で、年齢別の懇談会を実施している。今年は懇談会を2日に分けて行う園が増え、少ない人数の中での意見交換により、保護者が自分の子育てをじっくりと振り返る時間となっていた。日頃の悩みを分かち合いながら、子どもをしっかりと見つめることや、愛情をたっぷり注ぐことの大切さを感じてもらえたと思う。



（子育て懇談会（寒川保育園））

事業を実施して

【成果】

- 就学時健康診断時の子育て講座の依頼が増えている。正しい生活習慣の確立とともに、子どもの話に耳を傾け、深い関心を払うことの大切さを語り掛ける機会となっている。
- 子育て懇談会で、保護者が自分の子育てを語り合うことができるようになり、連帯意識が芽生えてきている。

【課題】

- 子どもを取り巻く環境や保護者の意識が大きく変わってきている。研修を深め、スタッフの質の向上に努めていきたい。
- 気軽に個別相談ができる機会や場所を確保し、保護者の心の支えになりたい。

子育て学習講座【西条市】

～学校や地域とともに築く家庭教育～

◆活動の目的・理念

- 各年齢層の児童・生徒を持つ保護者のために、参観日や保護者会等の機会を利用し、子育てに関する講座を実施することにより、家庭教育の向上を図ることを目的とする。

活動拠点	-	講座・学習 会開催数	60 回	相談対応 件数	- 件	訪問活動	- 件
広報活動	1 回	連携・協力 団体・機関	小学校25校、中学校10校、各小中学校PTA				
チーム スタッフ	地域コーディネーター	名	子育てサポーター・リーダー	名	民生委員・児童委員	名	
	元教職員	名	PTA役員	名	保健師	名	
計 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	名	

取組の概要

<主な取組内容>

- 小学校での就学時健診等を活用した子育て学習講座
 - ・就学前の子どもを持つ親を対象とした講座
 - ・各小学校単位で実施
- 小学校での参観日等を活用した子育て学習講座
 - ・小学生の子どもを持つ親を対象とした講座
 - ・各小学校単位で実施
- 中学校での参観日等を活用した子育て学習講座
 - ・中学生の子どもを持つ親を対象とした講座
 - ・各中学校単位で実施



(「みんなちがってみんないい」
マイクを使わない迫力ある講演)

保護者の感想

・子どもが困ったことをした時、我が子の困り感を親としてどう受け止めるかといった見方や考え方、接し方がはじめて分かりました。親がやり過ぎずに子どもにさせること、体験活動を生かしていきながら、困っているときの子どもの姿に寄り添っていきたいです。今日の話を生かして生活し、来年の入学式を晴れやかに迎えたいです。

(就学時「困った子は、困っている子」)

・学校の先生以外の方々も子どもたちのために関わっていることが分かり、とてもありがたかった。グループワークで初めて出会ったお父さんやお母さん方とも話せるようになった。相手のことが知ることができよかった。

(就学時「豊かな心を紡ぐ」)



(「豊かな心を紡ぐ」講師による読み聞かせ
～すべてのお母さん、お父さんへ～)

<特色ある取組>

● グループワークの活用

毎週「読み聞かせ」や「放課後子ども教室」で関わっている方々が講師になり、取組の様子や子どもたちへの思いを絵本の読み聞かせとともに伝え、グループに分かれて相互の交流を図る活動をする。

(就学時「豊かな心を紡ぐ」)

● 「えひめ家庭教育応援学習プログラム」の活用

プログラムの「もうすぐ1年生」を取り上げた。ワークショップ形式にすることで、話を聴くだけでなく、保護者が小学校入学前の不安感や自分の思いを言葉にしたり考えを共有できた。



(ワークショップ形式を取り入れた講座
保護者同士が和気あいあいと話し合う)

事業を実施して

【成果】

- グループワークで自己紹介や感動したことを伝え合い、入学にあたっての心配を話し合うことで、初めて出会った保護者同士でも打ち解けて話せる関係になった。
- 講座を通して、保護者の多くが子育ての目標を持つことができた。
- 発達障がい児に対する具体的な支援方法の理解につながった。

【課題】

- 小グループの話し合いでは発言者に偏りが出ることもある。話をすることに抵抗感のある保護者への配慮が必要。
- 父親の参加が少ない。多くの保護者に来てもらえるよう、PR方法を工夫したい。
- 講演を聞くだけでなく、その後の取組の振り返りができるようにしたい。

家庭教育学級・子育て学習講座【今治市】

～学校・PTA・地域と連携した講座の実施～

◆活動の目的・理念

- 児童・生徒が心身ともに健全な成長をするように、学習活動をととして家庭における成人の役割を学び、心豊かな明るい家庭環境づくりと青少年の健全育成をめざす。

活動拠点	小・中学校	講座・学習 会開催数	150 回	相談対応 件数	－ 件	訪問活動	－ 件
広報活動	－ 回	連携・協力 団体・機関	家庭教育学級(小学校20校、中学校11校、各学校PTA) 子育て学習講座(小学校15校)				
チーム スタッフ	地域コーディネーター	名	子育てサポーター・リーダー	名	民生委員・児童委員	名	
	元教職員	名	PTA役員	名	保健師	名	
計 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	名	

取組の概要

<主な取組内容>

● 子育て学習講座

- ・ 小学校の就学時健康診断の機会を活用
- ・ 講師は校医、保健師、発達支援センター職員など
- ・ 子どもの健康管理や身に付けさせたい生活習慣、子どもとの向き合い方などについての講座

参加者の声

- ・ 叱ることが多かったのが、言い聞かせることの大切さを知った。
- ・ 入学までに「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣を身に付けさせたい。
- ・ 生活リズムを整えることが、入学準備のために大切なことと理解できた。
- ・ 救命方法について実際に体験することが大切だと感じた。
- ・ 子どもたちに読み聞かせをして、コミュニケーションの機会を増やしたい。
- ・ ゲームもやり方次第で算数や国語の代わりになることが理解できた。
- ・ 「完璧を求めない」、「一人で頑張りすぎない」との言葉に救われた。
- ・ 思春期の話も今からできることがあると分かった。
- ・ 実際に体験してみるものの大切さと、胸骨圧迫の難しさを知ることができた。

● 家庭教育学級

- ・ P T A の組織を通じた研修会の開催
- ・ 地域の特性を生かした講座
- ・ 最新のニーズに応える講座



(子育て学習講座(応急手当講習))

<特色ある取組>

● 家庭教育学級

家庭教育学級では、市内小中学校PTAが地域の特性を生かし、地魚料理教室や趣味を生かした手作り雑貨教室等を実施している。また、心肺蘇生法やAED講習等の学習活動も行っている。

中には親子で参加して楽しめる教室もあり、地魚料理について専門家から教えていただく講習も実施している。



(家庭教育学級(地魚料理教室))

事業を実施して

【成果】

- 子育て学習講座では、子どもの健康管理や「早寝早起き朝ごはん」の生活習慣や子育てをする上での留意点について、講師から指導・アドバイスを受けることができた。参加者にとって子育ての方法を見つめ直す良い機会となった。
- 家庭教育学級では、親子で料理教室等の食育に関する学習やAEDを使った心肺蘇生法など、様々な実践を通して、家庭環境づくりや参加物同士の交流が深まり、お互いが家庭教育の相談をしやすい環境をつくることができた。

【課題】

- 平日の昼間に実施するため、参加者が限定されていることから、男性の参加が難しいと思われる。
- 家庭教育学級では、実技とレクリエーションの講座を組み合わせ楽しく学ぶことができたが、今後はさらに、家庭教育に重点を置いた幅広い研修を実施していきたい。

家庭教育支援・子育て講座【上島町】

～学びあいと交流を大切にした子育て支援～

◆活動の目的・理念

- 家庭教育における課題を探り、子どもの発達段階や親としての心得、子どもが抱える問題等について学習する機会をもつことで、全ての保護者が安心して家庭教育を行える環境づくりを進める。
- 家庭教育における悩みを相談し合い、情報交換できる場をつくる。

活動拠点	弓削中央公民館 魚島公民館	講座・学習 会開催数	9 回	相談対応 件数	- 件	訪問活動	- 件
広報活動	- 回	連携・協力 団体・機関	保育所3園、小学校3校、中学校3校、保健センター				
チーム スタッフ	地域コーディネーター 元教職員 計 名	名 名 名	子育てサポーター・リーダー PTA役員 支援団体・NPO関係者	名 名 名	民生委員・児童委員 保健師 その他	名 名 名	

取組の概要

<主な取組内容>

● 子育て講座

- ・今年度は、魚島地区、弓削地区、岩城地区計3回の子育て講座を開催。学校の参観日を活用し、親子で学ぶ場づくり、保護者同士の交流の場づくりを中心に企画した。
- (第1回) 魚島地区…ニュースポーツを通じて、親子・地域の方と交流を深める場として開催。
- (第2回) 岩城地区…災害に対して意識を向け、どのように自分を守るか、子どもを守るかについて学ぶ機会とした。
- (第3回) 弓削地区…親子で「いのちの根っこにある人権」をテーマに、歌と音楽を交えた講演形式で実施。ともに学ぶ機会とした。



(歌とお話に聞き入る参加者)

● 親子ふれあい教室

- ・今年度も年6回、保健センターの育児教室と共催で、対象者を広げて読み聞かせ体験やファーストサイン講座！などの親子ふれあい教室を開催した。



(親子ふれあい教室の様子)

参加者の感想

- ・普段子どもとゆっくり過ごせる時間が少なく、今回参加してよかった。
- ・今を生きる子どもたちを、長い目で見守っていききたい。
- ・日ごろからの人とのつながりが、災害時に自分を守ってくれることに気づくことができた。
- ・親がリラックスして子育てできることで、子どもにもよい影響があると感じた。

<特色ある取組>

● ニュースポーツ体験 ～ ディスコン ペガーボール ～

今年度の魚島地区子育て講座では、講師に障がい者スポーツ地域コーディネーターを招いて、ニュースポーツを実施した。ニュースポーツは、世代・年齢を問わず楽しむことができ、親子・保護者同士や地域の方たちとの会話が自然に弾み、交流を深めることができた。地域の大人が地域の子どもを見守っていく関係づくりのきっかけをつくることのできた。

参加者にも、気軽に楽しんでもらうことができ、まずは、参加することが楽しいと感じてもらえたと思う。今後は、普段の子育ての悩みについても気軽に話ができる関係づくりを進めていきたい。



(ニュースポーツ体験)

事業を実施して

【成果】

- 学校や保健センターとの連携を図ることができ、より多くの保護者に参加してもらうことができた。
- 普段なかなか忙しくて子どもと過ごす時間をつくれないう方にも楽しんで参加してもらうことができた。
- 親同士の交流の場ができ、普段の育児の悩みなどの情報交換ができた。

【課題】

- 保護者のニーズを把握し、課題解決につながるような講座内容を計画していきたい。
- 保護者同士のつながりをさらに深めていけるような講座の雰囲気づくりを心掛けるとともに、ここでできたつながりが、さらに広がっていくよう、継続して取り組んでいきたい。

伊予市家庭教育・子育てサポートグループ【伊予市】

～家庭・地域での家庭教育・子育て支援を目指して～

◆活動の目的・理念

- 地域住民に家庭教育や子育てに関する情報や学習の機会を提供しながら相談活動の充実を図り、共に支え合う家庭・地域づくりを応援する。

活動拠点	伊予市中央公民館	講座・学習会開催数	16 回	相談対応件数	7 件	訪問活動	0 件
広報活動	2 回	連携・協力団体・機関	市内保育所9園、幼稚園5園、認定こども園2園、小学校9校、中学校4校、公民館6館、子育て支援センター、保健センター、児童センター				
チーム	地域コーディネーター	1 名	子育てサポーター・リーダー	名	民生委員・児童委員	名	
スタッフ	元教職員	7 名	PTA役員	名	保健師	名	
計 13 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	5 名	

取組の概要

<主な取組内容>

● 家庭教育・子育て支援のPR活動

- ・ スタッフが保育所等関係機関に出向き支援活動の説明を行う学習会の案内、学習会開催希望調査表の配布等

● 学習会の開催

- ・ 参観日等の保護者の集まる機会を利用した学習会
ゲストティーチャーとして防災に視点を当てた読み語り
- ・ 小学校での読み語り・紙芝居
PTAと連携した読み聞かせや紙芝居、読書アドバイス
- ・ 地域や他の団体と連携した学習会
子どもを語る座談会（地区公民館）
伊予市生活研究協議会と連携、鯛を使い調理実習
- ・ 親子で栄養について学び、調理する学習会を実施
親子で遊び学ぶ会の提供（読み語り、野菜スタンプなど）

● 相談の実施

- ・ 子育て相談室（個人相談）とグループ相談
学習会等でのグループ相談活動

● 情報の提供

- ・ 情報誌「ほのぼの」の発行（年2回）
活動の紹介
子育て悩み相談



（家庭教育情報誌）



（鯛を使った料理に挑戦）



（小学校での読み語り）



（大平地区座談会）

<特色ある取組>

● IYO夢みらい館でのコラボイベント

伊予市に新しく誕生した「IYO夢みらい館」において、「王様の王冠づくり～さあ、みんなでパレードしよう～」と「IYOむかし話DEあそび ふるさとかるたづくり」のコラボイベントを実施した。



（王冠づくりをした後、王様になって館内をパレード!）



（伊予市の魅力をテーマにしたかるた作りのワークショップ。自分たちの地域に誇りや愛着を感じることができた）



事業を実施して

【成果】

- 児童センターや文化交流センターとの連携による学習会を開催し、多くの方に参加してもらうことができた。
- 地域読書ボランティアや市の他部署との連携により、様々な角度から子育ての支援を行うとともに、他の活動団体とつながりを持つことができた。

【課題】

- 小学生を対象とした学習会の開催が少ない。今後は、PTA活動との連携や保護者の要望に応じた外部講師の招へいなど、各校の規模や特色に合わせた学習会を提案し、学校との連携を進めたい。

砥部町家庭教育支援チーム【砥部町】

～悩みを抱える保護者が気軽に相談できる場所づくり～

◆活動の目的・理念

- 気軽に相談できる場
- 悩みを打ち明けられる場所づくり
- 保護者・地域・学校などのパイプ役になる支援活動を行っています。

活動拠点	砥部町中央公民館	講座・学習会開催数	5 回	相談対応件数	100 件	訪問活動	- 件
広報活動	5 回	連携・協力団体・機関	保育所・幼稚園・子ども園・小学校・中学校				
チームスタッフ	地域コーディネーター 1 名	子育てサポーター・リーダー 名	民生委員・児童委員 名	元教職員 名	PTA役員 名	保健師 名	
計 5 名	心理士・スクールカウンセラー 名	支援団体・NPO関係者 名	その他 4 名				

取組の概要

<主な取組内容>

● 子育て学習会の開催（年5回）

- ・講師に専門家を招き、5回の子育て学習会を開催した。
 - 第1回「保健室の子どもたち」+茶話会（講師 元養護教諭）
 - 第2回「子育て世代の心に響く言葉かけ」（講師 ペップトーク普及協会代表）
 - 第3回「子どもの悩み・親の悩み」+茶話会（講師 メンタルヘルストレーナー）
 - 第4回「発達が気になる子どもと付き合うヒント」+茶話会（講師 専門資格者）
 - 第5回「防災について学ぼう」（講師 日本ボーイスカウト愛媛県連盟）

● 家庭教育相談

- ・特に相談日を設けているのではなく、普段から学習会後に相談に応じている。誰でも気軽に相談できるよう家庭教育支援員の周知を広めて対応している。

保護者の感想

- ・なかなか人に話にくいことも、茶話会が話しやすい雰囲気なので相談しやすく、聞いてもらえたことで心が軽くなった。
- ・今日は来て本当によかったと思った。少し気分が落ち着いた。
- ・とても内容が良かった。子育ての参考になった。



（学習会の様子(第1回目)）

<特色ある取組>

● 茶話会・託児ルーム

学習会のあと、講師やスタッフを交えながら茶話会の時間を30分ほど設けている。リラックスした雰囲気の中で子育てに関する不安や悩みを打ち明けたり、傾聴したりすることで、子育てに対する不安やストレスなど解消する場となっている。茶話会には、町内の福祉部局職員や学校関係者のほかにも、町外の子育てに関する専門家も参加していただくこともあり、チーム員や保護者にとっても心強い機会になっている。また、保護者が安心して学習会に参加できるように、子育て支援団体のメンバーがサポーターとして協力し、託児ルームを会場の状況に応じて設置している。



会場での託児の様子

事業を実施して

【成果】

- 学習会後に茶話会を設けることで、保護者が気軽に子育ての悩みを打ち明けられるとともに、保護者同士のつながりも生まれ、子育ての不安や悩みを軽減することができている。
- 参加者の中には、専門的な知識を持つカウンセラーや学校関係者等も参加しており、それぞれが連携したネットワークができつつある。

【課題】

- 今後も参加者のニーズにあった講師の選定や内容の充実を図り、さらに参加者同士も連携ができる学習会にしていきたい。
- 開催時間やテーマなども工夫し、気軽に参加できる学習会にしていきたい。

久万高原Happyサポート【久万高原町】

～つながろう地域と 広げよう支援の輪～

◆活動の目的・理念

- 子育てに取り組む元気が湧き、楽しさを見出すような支援をする。
- 子どもの発達の知識やカウンセリングの素養を持つ専門機関と連携する。
- 子育て世代と地域をつなぎ、地域全体で子育てを応援する。

活動拠点	地域子育て支援センターHappy House	講座・学習 会開催数	19 回	相談対応 件数	40 件	訪問活動	3 件
広報活動	3 回	連携・協力 団体・機関	幼保連携型認定こども園1、児童館1、幼稚園9園、小学校9校、中学校2校、保健センター1、つどいの広場1、高等学校1校				
チーム スタッフ	地域コーディネーター	1 名	子育てサポーター・リーダー	2 名	民生委員・児童委員	名	
	元教職員	1 名	PTA役員	名	保健師	1 名	
計 17 名	心理士・スクールカウンセラー	1 名	支援団体・NPO関係者	名	その他	11 名	

取組の概要

＜主な取組内容＞

- 子育て情報「キラリ」発行
 - ・町内全戸に子育て情報発信
- 学習会「Happyカフェ」開催
 - ・子育て講座、Happy子育てトーク、カルチャーレッスン等
- 子育て相談実施
 - ・Happy HouseおよびNIKONIKO館（児童館）での相談
 - ・町内小学校、幼稚園を訪問する出張相談
- 保健センターとの連携
 - ・乳幼児健診訪問、離乳食・食育教室行事参加
 - ・「新米ママのためのつどい」（妊婦教室）「Happyカフェ」合同開催
 - ・療育教室、療育相談（発達障害など気になる子への対応）
- 子育てサロンでの交流
 - ・ふれあい広場及びつどいの広場に参加（託児支援・仲間づくりの応援）
- 高校生と乳幼児のふれあい体験
 - ・夏休みを利用して2回開催
 - 1 回目…イベント参加しながら交流
 - 2 回目…こども園乳児室にて保育体験



（元気が湧いてくる
Happy子育てトーク）



（高校生と乳幼児のふれあい体験）

保護者の感想

「Happyカフェ」と合同開催の「新米ママたちのつどい」で、仲間からの励ましや助産師さんのアドバイスをもらって、無事出産することができた。子育ての気になっていることも、仲間やスタッフと語り合うことでヒントをもらっている。

＜特色ある取組＞

- コーラス「風」と歌おう！
コーラスグループ「風」は、久万高原町の60歳～80歳のメンバーによる元気なシルバーコーラス。結成14年、レパートリーは100曲を超え、発表の要請も多い。月数回、Happy Houseで練習をしているので、来館される親子は美しい歌声を聴くことができる。親子とメンバーは親しく、わらべ唄も用意されていて一緒に歌うこともある。9月のある日、親子やこども園の園児のために「わらべ唄あそび」を企画してくださった。いろんな歌を歌った後の「かごめかごめ」や「じゃんけん列車」では、みんなで輪になって回り、地域の方と親子がふれ合う楽しいひとときとなった。



（コーラス「風」とわらべ唄あそび）

事業を実施して

【成果】

- 子育て支援センターHappy Houseは、児童館、こども園とともに、子育て支援の拠点が1か所に集まっている恵まれた環境のもとで多くの利用者に支援を提供できた。
- 保健センターと協力した子どもの育ちの応援、小学校への訪問相談、高校生と乳幼児のふれあい体験など、様々な機関と連携して地域とつながった。

【課題】

- 働く母親が多くなっている中、就労家庭への子育て・家庭教育支援が必要になってきている。利用の多い同じ法人内のこども園と交流し、支援の連携を考えていきたい。
- 社会福祉法人育和会の恵まれた環境の中で培った子育て支援のノウハウを地域に広げ、あらゆる世代と交流していきたい。

大洲子育てサポート“そよ風”【大洲市】

～保護者に寄り添う家庭教育支援をめざして～

◆活動の目的・理念

- 乳幼児から思春期までの子育てに関する悩みや心配ごとについて、相談や支援を行う。
- 相談に応じて関係機関と連携し、必要なサポートを行う。
- 情報紙(そよ風通信)や学習会を通して、子育てを考える機会を提供する。

活動拠点	大洲市立喜多小学校	講座・学習 会開催数	35 回	相談対応 件数	110 件	訪問活動	35 件
広報活動	11 回	連携・協力 団体・機関	保育所18、幼稚園8、小学校12、中学校9、公民館23、児童館3、保健センター、子育て支援センター、子育て支援課				
チーム スタッフ	地域コーディネーター	1 名	子育てサポーターリーダー	1 名	民生委員・児童委員	1 名	
	元教職員	3 名	PTA役員	名	保健師	名	
計 9 名	心理士・スクールカウンセラー	2 名	支援団体・NPO関係者	名	その他	1 名	

取組の概要

<主な取組内容>

● 利用しやすい相談対応

- ・ 毎週月・火・木・金 9:00～16:00に電話相談・来所相談・訪問相談を行っている。
- ・ 相談者の要望に応じて場所や時間を設定し、相談対応を行っている。
- ・ 児童館での『子育て広場』の後、個別相談対応も行っている。
- ・ 相談内容によっては、学校やその他の関係機関と連携している。

● 子育てを応援する学習会の開催

- ・ 子育て広場(毎月1回、児童館3か所)において、子育てに関する話やグループトークを行っている。
- ・ 子育て学習会(保育所・幼稚園・小学校)や外部機関・団体の研修会の講師として参加し、参加体験型の活動を取り入れ、楽しみながらも、気付きを促すような学習の場を設定している。



(子育て広場(児童センター))



(南予教育事務所主催
子育て学習会)

保護者の感想(子育て広場・子育て学習会について)

- ・ しつけのことなどを分かりやすく話してもらって参考になった。
- ・ 毎回心に響く話を聞き、子どもが生まれた日を思い出し、初心に戻っている。
- ・ みんなが同じようなことで困っていることが分かり、共感したり刺激になったりしている。
- ・ 子育て中の人が集まれる場所があるだけでもうれしい。安心する場になっている。

● 子育てに役立つ情報提供

- ・ そよ風通信の発行。毎月1回4,800部発行。市内の全保・幼・小・中学校・その他関係機関に送付。
- ・ 孤立しがちな保護者、要支援の保護者に対して、ダイレクトに届けられる支援として有効である。

<特色ある取組>

● 学校・他機関との連携

児童生徒の問題を保護者や学校等とさき細かく連携をし、それぞれの立場で役割を果たし、支援を行った。

● 就学時検診の場を利用して子育て学習会を実施

就学時検診時に「入学にあたって保護者に大切なこと」のテーマで学習会を行った。昨年度より依頼が増えた。

● 市教委・家庭相談員との定期的な連絡会

当サポートの状況(講座・通信・相談)及び活動の方針、事例検討等の会議を定期的に行っている。活動の広がりを推進し、運営上の問題解消に役立っている。

● 他県との交流

沖縄県家庭教育支援チームとの交流により、大洲市復興支援のために、エイサー踊り等を披露してもらった。

事業を実施して

【成果】

- 通信発行や子育て広場・子育て学習会の開催により多くの保護者に予防教育を行うことができた。
- 本チームの認知度や信頼度が高まり、各機関との連携がスムーズに行えるようになってきている。いじめ・不登校の相談等、様々な問題事例を解決できた。
- 保護者への付き添い・代弁等の寄り添う支援を行うことで、保護者が安心感を持ち、子どもに対応することができている。

【課題】

- 要支援家庭からの相談や支援要請が少なく、支援が十分ではない。
- SNS等を活用した広報活動の整備がなされていないので、若い保護者の利用が少ない。

せいよ家庭教育・子育て応援グループ【西予市】

～親子共育を支える地域力として～

◆活動の目的・理念

- 家庭における教育力の重要性の啓発・底上げ及び保護者の抱える問題に寄り添い対応する。
- 学校や行政関係各課との連携を密にし、社会・家庭・学校のニーズに対応したグループづくりに努める。
- 無理なく息の長い活動を目指す。

活動拠点	せいよ家庭教育・子育て応援グループ事務所	講座・学習会開催数	6 回	相談対応件数	7 件	訪問活動	6 件
広報活動	3 回	連携・協力団体・機関	保育所(認定こども園)16か所、幼稚園4園、小学校12校、中学校5校、公民館25館、児童館、学校教育課、子育て支援課、健康づくり推進課				
チーム	地域コーディネーター	2 名	子育てサポーター・リーダー	1 名	民生委員・児童委員	1 名	
スタッフ	元教職員	2 名	PTA役員	名	保健師	1 名	
計 11 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	4 名	

取組の概要

<主な取組内容>

● 子どもの育ちに大切な親子のつながりを深める主催・共催イベント

- ・「山で遊ぼう」 6/1(土) 9:00～13:00 親子 計77名
- ・「みんなでJUMP! トランポリンで遊ぼう!」 10/5(土) 9:00～13:00 親子 計57名
- ・「木のおもちゃであそぼう!」 10/26(土) 親子 計83名

● 子育て・親育ち学習会の実施

- ・「家庭教育支援員出前講座、大型絵本読み聞かせ」
5/5(土) 10:30～11:30 参加者 計19名
- ・「性を学んで『性=生』～こころとからだの主人公に～」
講師：食愛♡Kitchen～くうらぶ♡きっちん～主宰 菊池準子先生
11/30(土) 13:30～15:30 参加者 計56名
- ・「ADHD脳を否定せず人生を楽しむ」
講師：漫画家・西条市ウイングサポートセンター相談員 あーさ先生 (木のおもちゃであそぼう!の様子)
1/18(土) 13:30～15:30 参加者 計46名



● 寄り添い健やかな子育てを支える相談活動

- ・定期相談は、年間計画を基に毎月第2・4木曜日の13:30～15:30に実施し、電話相談は、平日の9:00～17:00に対応。要望があれば中学校への出前相談を行う。
- ・訪問相談(家庭訪問)：園・学校で抱えきれない子どもや保護者の問題に対応。福祉課等の子育て関連機関と連携し、親の抱える問題を家庭訪問等で支える。
- ・イベントでの相談コーナーの設置：市内各イベント時に相談コーナー・託児コーナーを設置。

● 定例会での研鑽・情報の共有

- ・計画・実践・反省へとつながり話し合いや情報交換等で情報の共有・意識統一を図る。毎月第2木曜日に実施。

保護者の感想

- ・今日会ったばかりの子どもたちがとても生き生きと楽しそうにお話を聞いたり、発表したりしていて、今日来ていた子どもたちはとても幸せだなと思いました。
- ・木のおもちゃの仕掛けなど工夫があって大人も楽しめた。子どもがとても集中して遊んでいた。

<特色ある取組>

● 主催事業 子育て親育ち学習会

「性を学んで『性=生』～こころとからだの主人公に～」
子育てに関する様々なテーマのうち、今年度は性教育について学習会を開催。
保護者同士の交流・情報交換、グループ員との交流という趣旨のもと企画した。



(産道体験)

事業を実施して

【成果】

- グループの活動が地域や学校にも根付き、イベントの参加者が増加している。
- 各機関との連携が強化されてきている。

【課題】

- 課題のある家庭のセーフティネットと、なるべく活動の深化・連携を図る。
- グループ活動の継続と、新グループ員の発掘・育成が必要である。

宇和島市家庭教育支援チーム【宇和島市】

～大きくなあれ うわしまっ子～

◆活動の目的・理念

- 地域の実態を把握し、子育て中の保護者とパートナーシップをとりながら、豊かな人間関係が持てるようにする。
- 身近な環境や人材を生かし、様々な活動を通して保護者の悩みを引き出し解決の支援をする。

活動拠点	宇和島市教育委員会 生涯学習課	講座・学習 会開催数	40 回	相談対応 件数	10 件	訪問活動	- 件
広報活動	3 回	連携・協力 団体・機関	市内保育所24か所、幼稚園10園、小学校28校、公民館30館、市役所保険健 康課				
チーム スタッフ	地域コーディネーター 元教職員 心理士・スクールカウンセラー	名 4 名 1 名	子育てサポーター・リーダー PTA役員 支援団体・NPO関係者	2 名 名 名	民生委員・児童委員 保健師 その他	4 名 名 6 名	
計	17 名						

取組の概要

<主な取組内容>

● 親の子育てを応援する学習会の開催

- ・ 市内30館の公民館とタイアップし、学校等の参観日など保護者の集まる機会をとらえて子育て学習会を開催。
 - ① 親子のふれあい体操～ミュージック・ケア～
 - ② 親子のコミュニケーション～ものづくりを通して～
 - ③-1 基本的な生活習慣について
 - ③-2 子どもの未来をひらく自尊感情の育成
 - ④ 食育講座～1日元気！めざましごはん～
 - ⑤ 本に親しもう～読み聞かせ・本の紹介～
 - ⑥ 子どもの心と体の健康づくり
 - ⑦ 親子でうどん作り



(親子でうどん作り)

● 今年度から新たに導入した学習会

- ・ ネット社会と子どもたち
小さいうちからネットを利用する子どもが増えている。そんな時代の変化に伴い、メディアリテラシーを育む内容の講演を行っている。



(親子のコミュニケーション
～ものづくりを通して～)

● チーム定例会の実施

- ・ 毎月1回定例会を開催し、子育て学習会の調整や相談活動に係る意見交換チームの活動に関する協議などを行っている。

<特色ある取組>

● チーム員による幼・保・小学校への訪問活動の実施

チームと幼・保・小学校との連携を密にする目的で、年に数回チーム員による支援を実施しており、情報交換をする中で、家庭教育支援の充実に効果をあげている。

● ほのぼ～のカフェ(子育て座談会)の実施

ほのぼ～のカフェと名付けて、年に数回子育て座談会を実施している。保護者や地域の方々と一息つきながら、子育てに関する相談をし合える場を提供している。



(ほのぼ～のカフェの様子)

事業を実施して

【成果】

- 子育て学習会や座談会では、アットホームな雰囲気の中での雑談から相談につながる事が多く、保護者のリアルな悩みや不安を伺うことができています。

【課題】

- 気軽に参加できる子育て学習会や座談会の周知がまだまだ足りないようで、参加者が伸び悩んでいる。参加した保護者からは、良い感想が聞かれるので、周知の徹底に力を入れたい。

あいなん子育て応援グループ【愛南町】

～子育て家庭の応援団～

◆活動の目的・理念

- 乳幼児から高校生までの子どもを持つ保護者を対象に、子育てのニーズに応じた直接的・間接的な支援を行う。
- 関係機関との連携を必要に応じて行い、切れ目のない継続性を重視したサポート活動を行う。
- 保護者との関係性を築きながら、心理的・教育的な面における身近なサポーターとして関わる。

活動拠点	愛南町役場	講座・学習 会開催数	7 回	相談対応 件数	21 件	訪問活動	- 件
広報活動	3 回	連携・協力 団体・機関	町内保育所9か所、幼稚園1園、小学校12校、中学校5校、高等学校1校 子育て支援センター、児童館				
チーム スタッフ	地域コーディネーター 元教職員 計 10 名	名 5 名 名	子育てサポーター・リーダー PTA役員 支援団体・NPO関係者	名 名 名	民生委員・児童委員 保健師 その他	4 名 1 名 名	

取組の概要

<主な取組内容>

● 子育て相談

- ・ 月2回、電話や面談で、子育ての悩みや不安などに関する相談を受け付けている。希望者には、別の日時や場所での相談にも応じる。

● 子育て通信発行

- ・ 子育て広報紙（あいなん子育て応援グループ通信）を年間3回発行し、コラムやおやつレシピなど、家庭教育や子育てに関する情報を提供している。
- ・ 町内の小中学校・幼稚園・保育所や子育て支援施設に配布している。

● 親子イベント・子育て講座の実施

- ・ 親子で楽しめるイベントや子育て講座を実施している。子育て講座では、学習と体験を組み合わせ、気軽に参加できるようにしている。

● 子育て支援活動

- ・ 町内の研修会・イベントでの託児支援を行っている。支援を行うことにより、グループの周知を図ると共に子育て家庭との交流を広げている。



（相談対応）



（子育て講座／
多肉植物の寄せ植え）



（親子イベント／
パラバルーンを楽しむ）

保護者の感想

- ・ 子育て通信で子育て相談のことを知った。スタッフに相談をしたことで、すぐに専門機関の検査を受けることができた。
- ・ 親子イベントでは、家ではできない遊びが体験できるので、毎年楽しみに参加している。
- ・ 教えてもらった魚料理を家でも作っている。子どもが魚をたくさん食べるようになった。

<特色ある取組>

● 親子でぎょよく

町の漁協女性部の協力を得て、愛南町産の魚介類を使った料理教室を毎年実施している。魚のさばき方や貝の処理の仕方を教わり、鯛のスープカレー・ヒオウギ貝の炊き込みご飯とグラタン・ひじき入りチョコランチなどを親子で一緒に作った。グループで調理・食事を行うことで、参加者同士の交流を深めることもできた。



（親子で一緒に
料理を楽しむ）



（ヒオウギ貝を
使ったメニュー）

事業を実施して

【成果】

- 自分たちで企画して、子育て支援イベントを実施することで、自分たちの活動を周知するとともに、親子のふれあいの機会や学習の場を提供することができた。
- 他の子育て支援団体の活動支援を行うことや、スタッフが自主的に研修会に参加することで、家庭教育・子育て相談に対応することができた。

【課題】

- 保護者のニーズや、家庭を取り巻く環境や意識の変化に対応した活動ができるよう、研修を深め、スタッフの質向上に努める。
- 保護者が気軽に相談ができる体制や人間関係の構築に努める。
- 年間3回発行している子育て通信が、さらに保護者に活用される内容となるよう努める。